



縫い工房 様  
愛用マシン:ジャノメ

## マシンは私の相棒

母が使っていたのは、ジャノメのマシンでした。

機種は忘れてしまいましたが、模様縫いの出来るマシンで、弟と今で言うリンクコーデの洋服を  
沢山縫ってもらいました。

20代半ばで、自分サイズの洋服を作りたくて、安物のマシンを購入しました。その後、本格的に  
洋裁を学びたくて、文化服装学院に入学し、格安マシンを職業用マシンに買い替え、以来30年  
以上職業用マシンユーザーです。2代目のマシンも職業用で、マシンは常にそばにあるのに家庭  
用マシンとは縁のない生活をしていました。


吉祥寺のボビナージュさんをお借りして、ワークショップを開催した時は、事前に家庭用マシンの  
使用方法を習いに行きました。

丁度1年半ほど前、地元の頼れるマシン屋さん「Eソーイング」(東京都府中市)で、フリーソーイ  
ングクラスの講師を担当させていただくことになり、ジャノメさんの家庭用マシンをお使いになる生  
徒さんが多く、家庭用マシンの機能性について改めて学び直しています。

針落ちの位置を移動出来たり、段差を縫う時に押さえ金を水平にホールドできたり、模様縫い  
だけでなく家庭用マシンユーザーに向けた、企業努力に感動する日々です。

**JANOME**  
**100**  
YEARS  
since 1921





ジャノメさんのミシンは、糸締めりが良く、縫い目がきれいなのが特徴です。洋裁教室で、生徒さんが失敗された時、ほどくのお手伝いするのですが、ジャノメさんのミシンで縫った作品は、ほどくのが大変です。

専門学校講師時代と違い、楽しい作品作りのお手伝いをするのが、私の仕事です。おとなのクラスの生徒さんが「洋裁教室は楽しい」とおっしゃってくださるのが、とても嬉しいです。

今年 5 月から「ミシン屋さんのミシン教室～小学生クラス～」も担当させていただいています。小学生が、かわいい手で集中してミシンに取り組んでいる姿を見ると、明るい未来を感じることが出来ます。

ミシンと出会わなかったら、こんな素敵な仕事を続けることが出来なかった、と思うとしみじみミシンは私の大切な相棒です。

ジャノメさん、ミシンを作り続けてくださってありがとうございます。

写真は、「ミシン屋さんのミシン教室～小学生クラス～」Lesson6、小学生の作品です。  
Eソーイング国立店で、7月に開催した時の作品です。

